

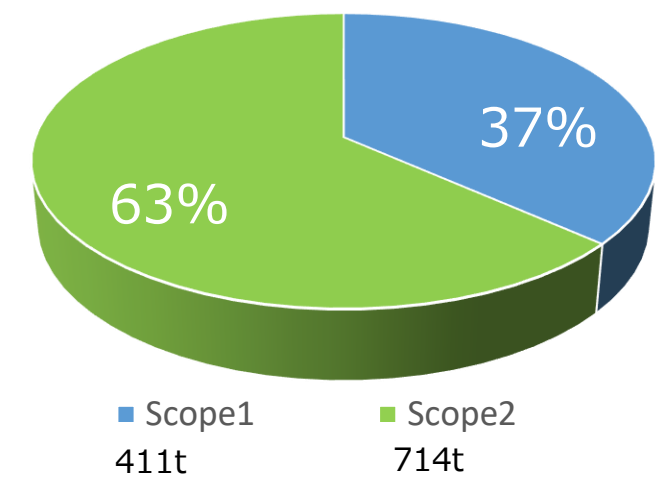
2024年度SBT（温室効果ガス排出目標）レポート

KDCは、人にも環境にも優しい企業を目指し事業活動と地球環境の両立、さらには住みよい地球を実現するために、未来にわたる生活の場である地球環境を保全し持続可能な社会づくりに貢献します。

KDCはお客様が求めるサプライチェーンの一員として、2022年5月に中小企業版SBT（SME）（※1）認定を受け温室効果ガス排出量を2030年までに2020年比42％削減する目標を設定し活動を開始しています。

※温室効果ガスの定義：大気に含まれる二酸化炭素やメタンなどのガスの総称

1.基準年度（2020年度）におけるScope別温室効果ガス（CO₂）排出量内訳



※1 『Science Based Targets（SBT）』
2015年にCDP、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）の4団体が共同で設立し、産業革命前からの気温上昇を1.5℃未満に抑えるために、科学的根拠に基づいた温室効果ガス排出削減目標の設定を企業に働きかけている。
中小企業版SBTの報告については、Scope1,2のみであり、Scope3については削減の対象とはならない。

※2：Scope1 燃料の燃焼など、自らによる温室効果ガスの直接排出
※3：Scope2 他者から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出
※4：Scope3 サプライチェーンにおけるその他間接排出

2.各拠点別、温室効果ガス排出内訳（2024年度）

	(単位：t)				
	本社御幣島センター	東京支店	東天満オフィス	梅田オフィス	計
電気(Scope2)	622.1	6.6	7.9	1.1	637.7
都市ガス(Scope1)	326.9	-	-	-	326.9
ガソリン(Scope1)	0.6	-	-	-	0.6

3.2024年度のKDCにおける温室効果ガス排出量状況

2023年度のCO₂排出量は1130tでした。2024年度は工場機能の集約により鳥栖センターを御幣島センターに集約し、御幣島センターの使用電力を再生可能エネルギー20％の調達を実施した結果、2024年度のCO₂排出量は、965tとなり165tの削減となりました。引き続き温室効果ガスの削減に向けて取り組んでまいります。

